

## 第2次仁淀川清流保全計画（改訂2版）の策定について

（環境共生課）

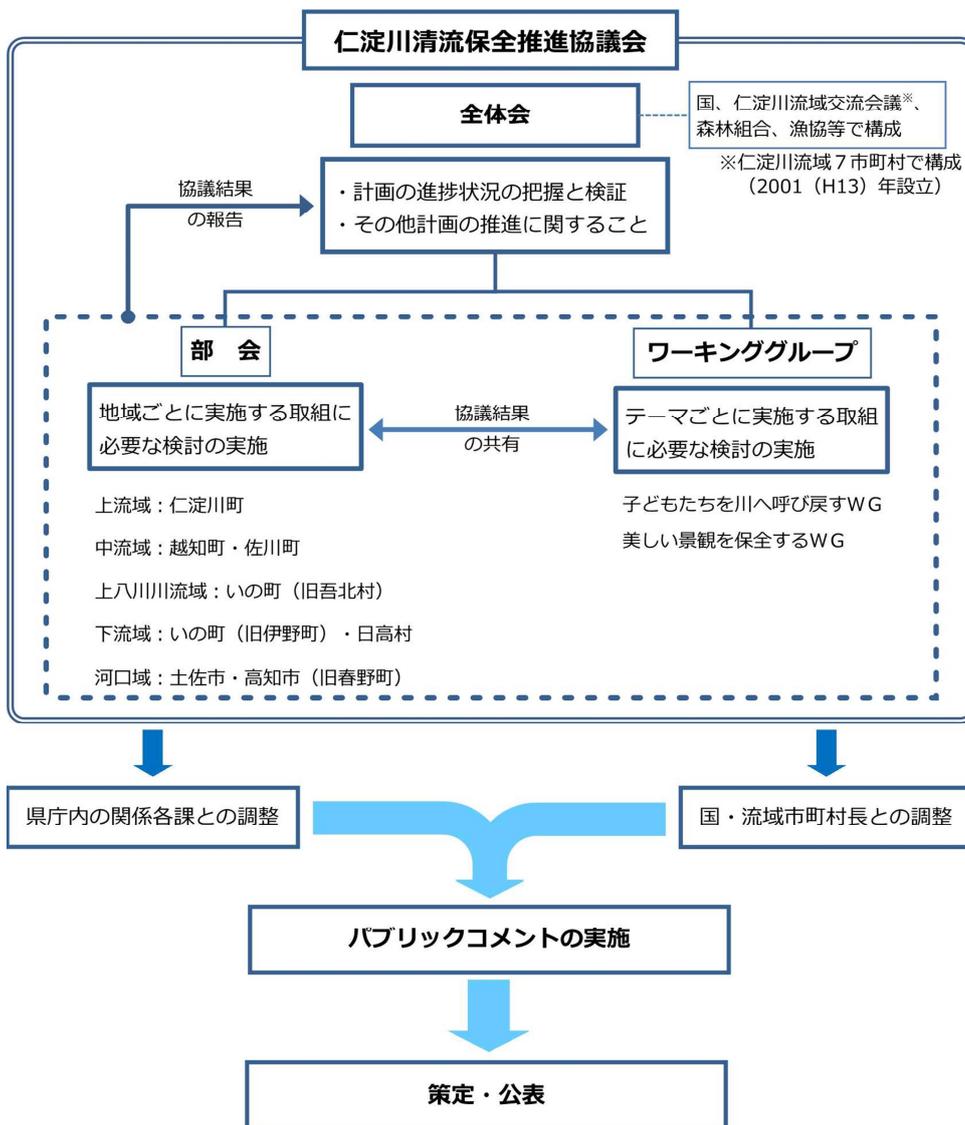
## 1 改訂の背景

仁淀川は、国土交通省による全国一級河川の水質ランキングで平成24～28年度、平成30年度及び令和2年度に一位となるなど、全国でも有数の清流であり、「仁淀ブルー」と呼ばれ観光の目玉として地域振興を担っています。この、奇跡の清流とも称される美しい仁淀川を次世代につないでいくには、清流保全に取り組んでいくことが不可欠です。

高知県では、高知県清流保全条例の規定による清流保全基本方針に基づき、平成11年3月に第1次仁淀川清流保全計画を策定し、平成22年3月には第2次仁淀川清流保全計画を策定しました。また、この計画を推進するため、流域住民や事業者、団体、行政などで組織する仁淀川清流保全推進協議会を平成22年5月に設置し、流域全体が連携した取組を進めています。

流域の住民や団体、行政などの意見を幅広く聴いて5年ごとに計画を見直すこととしていることから、流域市町村及び仁淀川漁業協同組合へのヒアリングを行ったうえで、地域ごとの課題を共有し検討を行う部会と流域全体に共通する課題について検討を行うワーキンググループ（WG）で協議を行いました。

これらの検討結果を反映した計画を仁淀川清流保全推進協議会として取りまとめ、国・流域市町村及び県庁内の関係各課の調整に加えてパブリックコメントを実施し、広く県民の皆様意見を反映させて、令和2年3月に第2次仁淀川清流保全計画（改訂2版）を策定・公表しました。



## 2 改訂のポイント

今回の改訂では、平成27年度から令和元年度までの5年間の活動内容を振り返り、今後5年間で具体的に何を進めていくかについて協議を重ねました。その結果、安心して川で遊べる機会づくりに必要な人材の育成や育成した人材による子どもたち向けの安全講座、ごみ勉強会の実施などを通じたごみを捨てない意識の醸成につながる取組を重点項目として位置付けています。

また、進捗状況を把握し、PDCAを回せていけるよう具体的な取組内容や数値目標などを定めたほか、仁淀川の概要や現状に地質、生物のデータを追加し、仁淀川の現状や流域団体の取組などをわかりやすく伝えられるようコラム形式で紹介しました。

### 3 第2次仁淀川清流保全計画（改訂2版）の概要

#### （1）計画の基本方針及び理念

仁淀川は、全国でも指折りの川遊びのメッカとして、特に夏場には多くの人々がキャンプや水遊びなどに訪れています。

仁淀川の清流を保全して後世に引き継いでいくために、今、何を残し、何を伝えていくべきか、流域全体が一体となって知恵を絞り、さまざまな課題の解決を図っていくとともに、流域資源を有効活用しながら、連携して取り組んでいくことが求められています。

#### 基本方針

- ◆ 流域住民や活動団体をはじめとした、仁淀川に関わる人、一人ひとりが主役となって、川を見て、川のことを考え、川と親しむ心を持ち続けます。
- ◆ 人々の心と暮らしが川とつながり、川を守る行動を起こします。
- ◆ 流域全体をネットワークで結び、流域が一つとなって、山・川・海のつながりを念頭に置いた清流保全に努めます。

#### 基本理念 （キャッチフレーズ）

子どもたちの笑顔を育む仁淀川  
～人と自然が織りなす清流仁淀川～

#### （2）対象水域及び流域

計画の対象水域は、仁淀川の高知県側の本川及び支川とします。支川の主なものは、仁淀川町の土居川、長者川、越知町の坂折川、佐川町の柳瀬川、日高村の日下川、いの町の上八川川、宇治川、奥田川、土佐市の波介川などです。

対象流域は、仁淀川町、越知町、佐川町、日高村、いの町、土佐市、高知市の計7市町村とします。

なお、愛媛県側の流域については、仁淀川清流保全計画の目的を達成するため、情報交換・情報共有などを通じて連携していきます。



(3) 仁淀川の目指す将来像と取組内容

計画では、仁淀川が抱える課題ごとに将来像を設定し、その実現に向けた取組項目をテーマごとに設定しています。取組項目の中でも、社会的情勢の変化により緊急かつ早期に取り組む必要があり、流域の住民や団体が主体的に取り組むことができる「子どもたちを川へ呼び戻す」「美しい景観を保全する」の2テーマについては、重点項目としてワーキンググループ（WG）を立ち上げ検討を進めています。

【課題】	【将来像】	【取組項目】
川で遊ぶ子どもたちの減少 川と人との関わりの減少	子どもたちをはじめ、人々で賑わっている川	<b>重点項目</b> テーマ：子どもたちを川へ呼び戻す 1. 親子で川にふれあう行事の充実・広報 2. 安全・安心で楽しい水辺活動の推進 3. 学校での環境学習や川に親しむ機会づくりへの支援
水文化を後世へ残す	伝統文化や遊びが後世に引き継がれている川	◆テーマ：水文化を継承する 1. 流域の水文化に親しむ機会の拡大 2. 地域の営みや伝統文化に根ざした暮らしの維持 3. 仁淀川にまつわる伝承等の収集及び活用
アユの漁獲量の減少 美しい景観の保全	川本来の生態系や美しい景観が残されている川	◆テーマ：川本来の生態系を取り戻す 1. 自然環境調査の実施 2. 生物多様性の確保に向けた取組の実施 3. 水辺林の保全と適正な管理  <b>重点項目</b> テーマ：美しい景観を保全する 1. 「仁淀川・環境の日」の啓発・一斉清掃等への参加呼びかけ 2. 河川利用者のマナー向上に向けた取組の実施 3. 上下流の連携 4. 環境先進企業、関係団体との協働による仁淀川における水辺の環境保全活動の普及促進
森林の荒廃 排水・汚水処理対策	水量・水質が良好である川	◆テーマ：豊かな水量を確保・維持する 1. 健全な森づくりによる山の保水力の回復 2. 森林組合や民間林業事業体に加え、自伐小規模林業者や森林保全ボランティアを活用した森林整備 3. 環境先進企業、関係団体との協働による地球温暖化対策に着目した森林整備  ◆テーマ：排水・汚水処理対策を進める 1. 生活排水対策 2. 地域における環境保全対策 3. 事業系排水対策 4. 水質測定の測定結果と経年変化の分析

(4) 計画期間と進捗管理

ア 計画期間

この計画は、仁淀川が将来にわたり、「身近な清流」としてあり続けることを目的としています。このため、計画期間の終期は定めていません。

なお、仁淀川清流保全推進協議会において、計画の進捗状況を把握、検証し、5年ごとに計画の見直しを行い、公表していきます。

イ 進捗管理

計画を効果的に推進していくには、進捗管理と取組結果の評価を定期的・継続的に実施し、その結果を踏まえて計画の見直しを行っていくことが重要です。このため取組項目ごとに具体的な取組内容や数値目標などを定め、PDCAサイクルを回すことによって進捗管理を図ることとします。達成状況等については、部会やワーキンググループ（WG）において共有し、見直しの必要性について検討するとともに、全体会（仁淀川清流保全推進協議会）で次年度以降の取組を決定していきます。

第2次仁淀川清流保全計画 進捗管理表

テーマ	子どもたちを川へ呼び戻す	目的	仁淀川にふれあう行事を充実させるとともに広報活動を実施することによって、親子で参加できる行事へ数多くの参加を促す。				
取組項目	親子で川にふれあう行事の充実・広報						
取組内容	これまでの実績 (平成27年度 ～平成30年度)	計画スケジュール					目標 (令和6年度)
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
1 川にふれあう行事の充実・広報 仁淀川にふれあう行事を実施するとともに、参加しやすくなるよう情報発信を行う。また、媒体の活用方法について整理し、流域で川にふれあう行事を行っている団体等へ提供することによって情報発信しやすくなるよう支援する。	親子体験教室※ :7回 Facebook等での 情報発信	計画 媒体活用方法の整理 → 提供		行事の実施及びホームページ・Facebook等を活用した情報発信			親子体験教室:10回 Facebook等での 情報発信
2 「仁淀川学習」プログラムの開発及び実施 水生生物や水文化、ごみ問題など、さまざまな分野に関するプログラムを新たに作成し実施することによって、仁淀川について学べる機会づくりにつなげる。	新規	計画 検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	検討及び実施(2回)	プログラム数:10個 実施回数:10回

※主催:高知県立高知青少年の家(共催:仁淀川清流保全推進協議会)

◆ 計画では、協議会や流域団体が実施している取組や仁淀川の課題をコラムで紹介しています。



「川の安全教室 in 仁淀川」の取組



鎌田井筋をテーマにした小学校への出前授業



奥田川の絶滅危惧種を見守る地域の人々



ごみ勉強会



団体による植樹の取組

第2次仁淀川清流保全計画(改訂2版)は、こちらをご覧ください

